佐賀大学　令和５年度夏休み学童保育 with カッチー教室　開催

実施趣旨

　近年、共働き家庭の増加により、就学児童の放課後および長期休みの過ごし方に課題を抱える保護者が増えています。そうした課題解決の一助として、令和元年度より、学内での学童保育を企画・実施しています。学内学童保育の実施によって、本学教職員の子どもたちに安全で安心な居場所を提供でき、保護者である教職員が安心して仕事に取り組むことにつながります。また、保護者が子どもと一緒に出勤・退勤ができるため、非常に利便性が高いと言えます。さらに、子どもが保護者の勤務先を身近に感じる機会にもなります。

　佐賀大学ダイバーシティ推進室は、教職員のワークライフバランスの充実と大学の資源を活かした『学童保育』として、「夏休み学童保育 with カッチー教室」 を小学生の夏休み期間中である 7 月 26 日（水）～28 日（金）の 3 日間、実施しました。

7 月 26 日(水)

【朝の会･移動】　ダイバーシティ推進室副室長荒木より、佐賀大学についての紹介があり、学童保育中の約束についてみんなで確認しました。

　午前のカッチー教室は鍋島キャンパスで開催されるため、マイクロバスに乗ってみんなで移動しました。

【カッチー教室①】 自分だけの“肝ちゃん”を作って、めざせ！“肝”ぺき生活

附属病院肝疾患センター　高橋　宏和　先生
井上　香　先生
原　なぎさ　先生

鍋島キャンパスの講義室に到着すると、肝疾患センターのスタッフのみなさんと肝ちゃんが温かく迎えてくれました。高橋先生・井上先生・原先生それぞれから、肝臓についてクイズを取り入れた分かりやすいお話があり、肝臓の重要性や、普段の生活で肝臓の為にできることをしっかり学びました。

続いて、自分だけの肝ちゃんを制作しました。フェルト生地を肝臓の形にハサミで切り抜いて、目をつけたり、飾りをつけたりして、それぞれが創意工夫を凝らした素敵な作品が完成しました。カッチーくんも遊びに来てくれて（肝ちゃんと初対面！）、みんなで記念写真を撮りました

【カッチー教室②】ようこそ、えこいくランド！

学生サークル環境教育班　えこいく

サークル活動として環境教育をしている「えこいく」のみなさんと一緒に、環境について学びました。

はじめに、ちりめんモンスター探しをしました。ちりめん（しらす干し）を作る際に多種多様の海の生き物がたくさん混じり、中にはモンスターと言われるとても珍しい生き物も混じっています。新聞紙に広げたちりめんを箸でかき分け、タコやカニやタツノオトシゴなどのレアモンスターを見つけて楽しむと同時に、こうした生物たちが住む海の環境について考える機会になりました。

廃棄物の分別を競う学年対抗ごみ分別リレーは、子どもたちにはなかなか難しかったのですが、１位は１・２年生、２位は３・４年生、３位は５・６年生という驚きの結果になりました。仕上げに環境クイズを解いて、全員が環境マスターになり、手作りのメダルをもらいました。すてきなメダルにみんな嬉しそうでした。

※「ちりめんモンスター」は、多種多様な海の生物を探す体験ができる製品で、食用ではありません。

【カッチー教室③】だしってなぁに？

教育学部 萱島 知子 先生

教育学部調理実習室にて、出汁について学びました。萱島先生から、出汁素材としてよく使用される、いりこ・昆布・きのこ・あご（トビウオ）等の説明があり、実際に触って確認しました。

続いて、かつお節をポットに入れて熱湯を注ぎ、時間を測って出汁を抽出しました。早速、試飲！出汁だけだとぼんやりした味でおいしくないのですが、少しお塩を加えると劇的に味が変わります。塩を追加すると、対比効果で旨味が強くなるため、みんな「おいしくなった！」と出汁を飲み干していました。

最後にかつお節を実際に削る体験をしました。かつお節の塊を初めて見る子どもたちが多く、「これが削る前のかつお節！？」と驚いていました。非常に硬いので、なかなかうまく削れなかったのですが、苦労して自分で削ったかつお節は、お土産として持ち帰りました。

【カッチー教室④】 せかいをぼうけん！えいごであそぼう！！

佐賀大学グローバルサポーターズ

学生グループ「グローバルサポーターズ」のみなさんが、英語であそべるプログラムを企画・提供してくれました。

留学生メンバー２人の出身国（コソボ、ナイジェリア）に関する○×クイズでは、食べ物や挨拶の仕方が紹介され、日本との違いに驚きました。みんなでやったゲーム「シュウマイじゃんけん」や「サイモンセズ」は、大盛り上がりで何度もリクエストされていました。「じゃんけん列車」もとても楽しかったです。

子どもたちからは、外国の方と話せてよかった、自分も海外に行ってみたいなどの感想があり、留学生との交流がとてもよい刺激になったようです。

※佐賀大学グローバルサポーターズとは、佐賀大学国際交流推進センターと共に、日本人学生と外国人留学生が共に学び、交流する機会を提供するために国際交流イベント等を企画・運営する学生グループです。

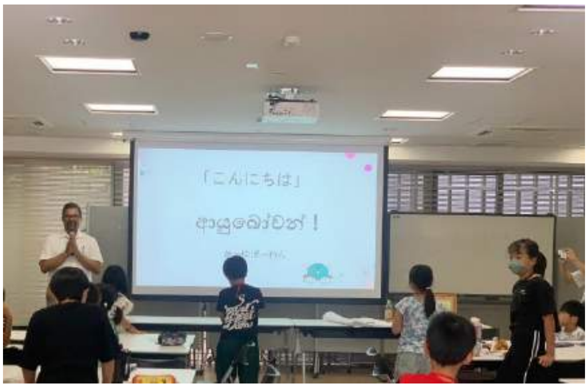
【カッチー教室⑤】スリランカってどんな国？

経済学部　サーリヤ　先生

　スリランカご出身のサーリヤ先生に、スリランカの民族・自然・文化・食物・言語について、クイズ形式で教えてもらいました。また、サーリヤ先生の奥様にもご協力いただき、民族衣装サリーの着付け方法をデモンストレーションしてもらいました。

　続いて、スリランカではお正月にするというゲーム「ALIYAATA ESA THEBIIMA（目隠しして象の目を描く）」をしたところ、とてもおもしろくすごく盛り上がりました。また、スリランカの公用語のひとつであるシンハラ語で、自分の名前や好きな言葉を書く体験では、サーリヤ先生や奥様にやさしく教えてもらいながら初めての言語に触れる機会になりました。

　盛りだくさんのプログラムの最後は、スリランカティーをみんなで飲みました。やや濃く抽出されてしまったからかお砂糖を入れる子が続出でしたが、おいしくいただきました。



【カッチー教室⑥】藻類のふしぎ～藻類ってどんな色

農学部　木村　圭　先生

　農学部実験室にて、木村先生のご指導の下、佐賀の名産品の一つである海苔について調べました。黒色に見える海苔ですが、熱を加えると、黒から緑に変色します。変色する原因を探るために、2つの海苔（熱あり／熱なし）を見比べたり食べ比べたりして、考えてみました。続いて、海苔を乳鉢ですり潰して、クロマトグラフィーで色を抽出・分離する作業を行いました。つぶす作業は大変でしたが、橙色・緑色・赤色などの黒以外の色がきれいに抽出でき、海苔に含まれる赤色は、海底で光合成をするためには必要であることや旨味成分であることを学びました。

　色抽出の待ち時間に、海藻でしおりを作りました。海藻をどこに配置しようかと工夫したり、背景に絵を描いたり、個性あふれるしおりが出来上がりました。しおりはしっかり乾燥後にラミネート加工をし、子どもたちに返却しました。

【特別企画】国スポ紹介・クイズ

SAGA Seeds 2024

　2024 年に佐賀県で開催される国スポ（旧：国体）の広報活動をされている、SAGA Seeds 2024 のみなさんに国スポについて紹介してもらいました。

　はじめに国スポについての紹介があった後、みんなでスポーツセンターに移動し、スポーツ体験をしました。ラダーゲッター（紐でつながっている 2 個のボールをラダー（はしご）に向かって投げて点数を競う）と皿かぶり競争（頭に素焼きの皿をのせてリレーをする）を実際に体験し、汗だくになるほど競技を楽しみました。

【特別講義】むしでつながる佐賀とひと　～SAGA むし結び～

農学部　　徳田　誠　先生

昆虫を研究している徳田先生に、特別にお話していただきました。

太古は巨大だった昆虫が、進化の過程で、酸素濃度に合わせて現在のサイズになったということや、昆虫がいなければ人間の生活は成立しないことなどを学ぶ機会になりました。また、佐賀平野には、日本のトンボの３分の１がいるというお話があり、貴重な佐賀の自然を守っていかなければいけないという強いメッセージも子どもたちはしっかり受け取りました。

身近な昆虫のお話だったので、積極的に挙手したり、熱心に耳を傾ける子どもたちが多かったです。徳田先生が研究室から持参してくれた標本や昆虫（いろいろなクワガタ、ヘラクレスオオカブトも！）に子どもたちは大興奮でした。

学童保育終了後、子どもたちには日記を書いてもらい、ご協力いただいた先生方にお渡ししました。

7月26日

井上先生と宮はし先生が肝ぞうのはたらきを教えてくれて肝ぞうについてはじめて知ることがたくさんありました。小さく肝ぞうのことをたくさん教えてあげようと思いました。キラキラシールをはったりして自分のすきなようにオリジナル肝ちゃんを作ったのが楽しかったのと先生に上手だねとほめられてうれしかったです。

名前（　）

「ようこそ、えこいくランド！」

7月26日

ゴミ分別ゲームでは、第一位が三年生で第二位が三、四年生で第三位が五六年生で意外でした。またチリメンモンスターさがしでは大きい魚や小さい魚、タコなどを見つけました。とても楽しかったです。

名前（　）

だしってなあに？

7月27日

「うーん！いいかおり」。今日はみんなでかつおぶしをけずりきでけずりました。なんだか大工さんになった気分だったけど、けずると、おいしいかつおのにおいがしてきてとてもおなかがすきました

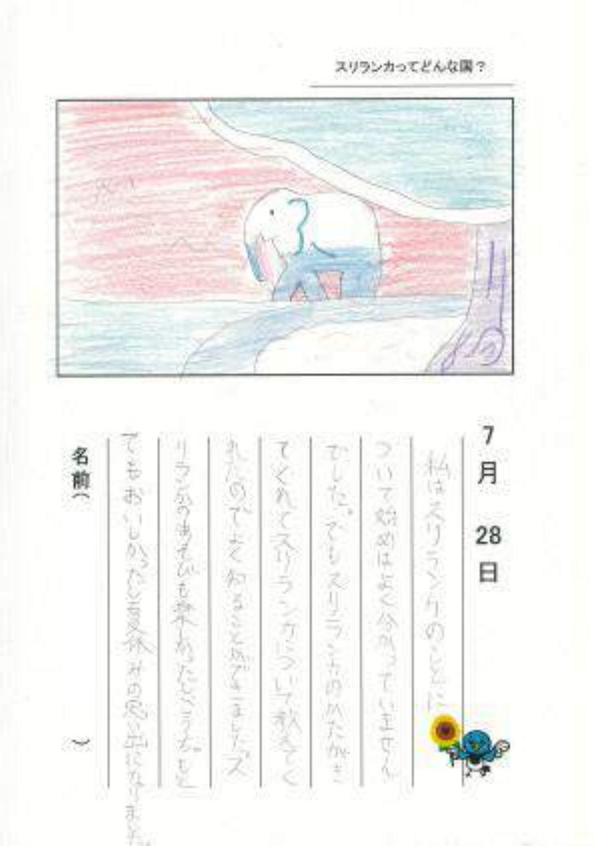
名前（　）

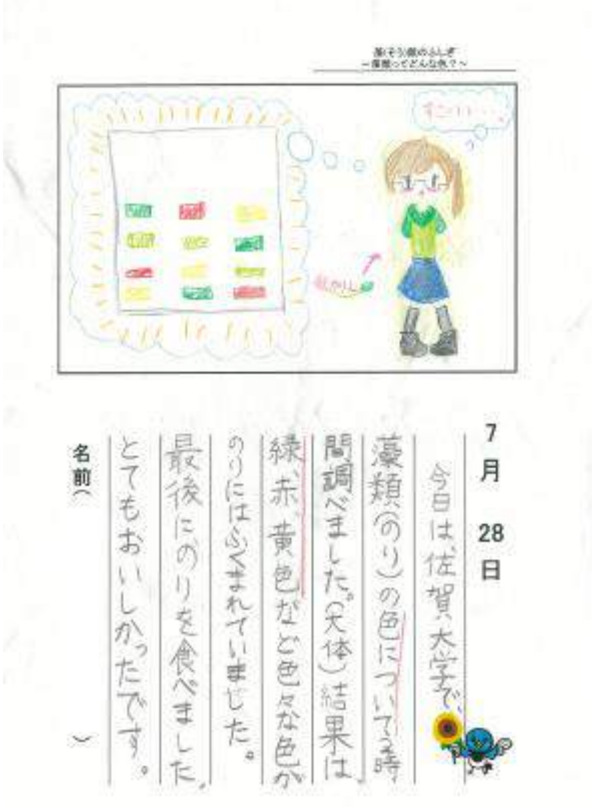
せかいをぼうけん！
えいごであそぼう！！

7月27日

今日は、世界を冒険！英語で遊ぼう！！」をしました。エリオン、ケビン先生たちのゲームをたくさんの人でしました。一位にもなれました。ケビン先生のサイモンセズゲームにすぐ引っかかってしまいました。クイズもあっておもしろかったです。（あんまり点数取れなかったけど・・・）はじめて外国に行ってみたいと思いました。とても楽しかったです。また遊びたいです。

名前（　）





佐賀大学ダイバーシティ推進室では引き続き、教職員のワークライフバランスの充実に向け様々な活動に取り組んでいきます